

# お知らせ

「コミュニン往来」は、本号をもつてしばらくの間冬眠いたします。また、「コミュニン好き者会」の「定例会」の方も、11月例会をもつてしばらくお休みにします。

当初「コミュニン好き者会」(前身「月刊キブツ」関西読者会)は実際に共同体運動に参加している人達が、個々の経験を交換したり、ともに共同体理論を深めたりする目的で始めましたが、最近では、弥栄え郷共同体・ママギミ会等一部を除いて、実際に共同体運動に

参加されている人の参加が少なくなり、コミュニン好き者会は、事実上共同体運動全般の啓蒙、情宣活動の場になっていました。それも、少々マニネリ化してきたくらいもあり、そこで定例会とコミュニン往来をしばらく休んで、改めて両者の在り方を考え、近い将来、新しいスタッフと新しいイメージで再出発することを期しています。それはいつかは判りません。

読者のみなさんの「コミュニン好き者会、コミュニン往来に対する率直な御意見、御提案を」としてお寄せ下さい。

なお、定例会はしばらく休みます

が、「コミュニン好き者会は今まで通り、寝屋川市木田町の20 近藤保義方を連絡先に活動を続けます。

コミュニン往来の休刊により、コミュニン往来連載中の記事(例えば角野氏の「ヨーロッパ共同体めぐり」等は、今後「備北だより」で引き続き掲載されます。御愛読下さい。また「備北だより」を「コミュニン往来」に同封して発送することができなくはりますので、「備北だより」を御購読希望の方は、大阪市東区玉津二丁目東成玉津郵便局留 備北百人委員会までお申し込み下さい。



## 〈中途半ばはやめよう〉

私達は何をしてるんか? 「共同体運動や」と言っていた。此頃ほんまかいなと思うようになった。例年に沢山集まって、「往来」の読者が増えればへ運動しているなんて気分になっていた。一方的、自目的にしか、運動というものをとらえることができなかった私。

コミュニン志向者の仲人役を仰せ付かった好き者会は、定例会と往来によって多くの出会いを創り出しました。しかし、一時ブーム的な高まりを見せた共同体運動も閑所にきたのでし

私はこれまで直接には往来編集に携わることなく、往来紙上の一部を備北だよりにすること——独立して備北だよりを出すことを通じて、私なりに往来を作ってきたつもりだった。かなり以前から、定例会の運営と往来編集の方法に困して「内容がマニネリ化し、ただ続けることのみを重複している」という批判があった。何回か話し合いを持って、改革案も出されたが、結局のところ、各々が共同体運動をやっていきつつ、その情報交換や交流の場としての機能を果たしていかなければ、続けることのみで終わってしまうというところで休刊となった。私の関わり方から考えて、当然の結論であったといえるかもしれないが、正直なところやはり淋しいし、不安でもある。しかし今の私達がしなければならぬことは、まず自分の足元の伯列の動きを確かなものにするところであり、その延長線上にこそ、本来あるべきコミュニン往来の姿が出現してくるのだと思う。

# 空よりの編集室

## コミュニン往来休刊にあたって

自分の中での観念は、まったく同じで進歩登展してないのに気が付く。備北にしろ、弥栄にしろ、私は中途半端であった。メンバーの一部も私にはどう見える。今井真志さんの言葉(月刊キブツ八月号)を思い出す。気の合ったメンバー(仲間)を見つけるのはむずかしいとつくづく思った。理論や理論を通すとすると、人の感情や情緒をも、無視してしまうことになる。理論や理論より、楽しい遊びをしよう。中途半端なことはやめよう。どう思うようになった。(保)

的に創るべきものか。否だと思えます。場の維持だけで充分か。否

が、コミュニン好き者会は今まで通り、寝屋川市木田町の20 近藤保義方を連絡先に活動を続けます。

(P 6)

が、コミュニン好き者会は今まで通り、寝屋川市木田町の20 近藤保義方を連絡先に活動を続けます。

